



No.28

令和3年
2月2日発行

[Contents]

- P1.新年のあいさつ
- P6.認知症看護認定看護師の
活動紹介
- P7.JCHO北海道病院における
新型コロナウイルス感染症対策
- P8.今号の写真～表紙写真紹介～
災害救急指定日
研修会自粛のお知らせ
- P9.各科外来診療担当医師表

ジェイコー
JCHO

北海道病院

だより

JCHO北海道病院

新年のあいさつ



新年明けまして おめでとうございます。



院長
古家 乾

一昨年（2019年）の末、このご挨拶の原稿を作成中は、よもや新型コロナウイルス感染症の世界的なパンデミックになるとは予想していませんでした。昨年は子年ならぬコロナ年と称しても過言ではありません。

新型コロナウイルス感染症対策に関して、国家的にもっとも効率的に制御した国・地域としては台湾が挙げられます。台湾は中国との往来も多く、当初は中国について2番目に感染者が増加すると予想されていたようです。しかし、台湾は2019年12月31日、武漢市における新型ウイルス感染

拡大情報をWHOに伝えて警戒を呼びかけると共に、武漢からの入国者に検疫を開始しています。さらに年が明けた1月5日には原因不明の肺炎に対する専門家会議を開催し、20日にはこの問題の指揮センターを設置。同21日には台湾初の感染者が確認され、翌22日には蔡総統が徹底した防疫を安全会議で指示したと伝えられています。感染管理におけるデジタル技術、マスクの販売管理と製造など様々な手法を導入し、未だに総感染者数が800人に満たないのは、人口が日本の約1/5としても見事な感染制御と言えます。

一方、日本の第1例目は、2020年1月6日に武漢市から帰国した日本人で、3日間の発熱があり、10日に相模原市の病院に入院、16日にPCRで陽性と発表されました。北海道の第1例目は、2020年1月20日武漢市からの観光客の方でした。ダイヤモンドプリンセス号、北海道における第1波、その後の第2、3波はご承知の通りです。ニュージーランド、オーストラリアなども感染制御に成功した国と言えます。このアジア・オセアニアの地域には日本が参考にすべき、政治、行政、保健・医療のフレームワークがあるのだと思います。反対に、米国があれだけの経済、先進医療を持ちながら、制御不能となっているのも想像できなかったことです。

このコロナ禍では、医療だけでは戦えないことを学びました。

経済と医療の両立、医療の中でも

コロナ診療と一般診療の両立が必要です。

今春には日本でもワクチン接種が始まるようです。

結びになりますが、国民全ての皆様が安心して普通の生活を取り戻せる日が一日も早く実現することを祈念して、ご挨拶とさせていただきます。



新年のあいさつ



副院長・
呼吸器センター長
秋山 也寸史

新年明けましておめでとうございます。

去年は新しい年が始まって早々にCOVID-19の流行が始まり、大変な1年になってしまいました。当院も北海道や札幌市と密接に連携し、最大限の感染予防策を講じながらCOVID患者を受け入れてきましたが、11月の流行で残念ながら院内で小クラスターが発生し、新患受け入れを一時お断りをしなければならなくなってしまいました。ご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。水際での対策をさらに充実させるため、総合支援センターを介して患者をご紹介いただけますと幸いです。

病院の体制としては昨年4月から循環器内科の入院診療を再開し、カテーテル検査・治療、ペースメーカー埋め込み等を始めています。これにより、診療科の陣容もこれまで以上に充実し、札幌南部の急性期医療を今後も担うため、各職種の力を合わせ病院一丸となって働いています。

高齢化社会への対応として当院には、急性期病院には珍しく、老健施設JCHO中の島が附属しており、入所やデイケアでの優しい介護を行っています。COVID流行で受け入れを止める施設がいくつもある中、感染予防に細心の注意を払いつつ受け入れを続けています。

本年はワクチンの接種が始まる見込みですが、COVIDについてはまだまだ気が抜けない状態が続きます。くれぐれもお体に気を付けてお過ごしください。皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。



副院長・
消化器センター長・
総合支援センター長
数井 啓蔵

新年明けましておめでとうございます。

2020年お正月、東京オリンピック開催の年。1年前はワクワクした気持ちで新年を迎えました。マラソン、競歩は札幌開催が決まり、特にマラソンコースには中の島通りが含まれ、世界中が注目される中、JCHO北海道病院ももしかしたらテレビに映るかもなんて考えておりました。ところが、雪まつりを契機にまず北海道内にはコロナが流行しはじめ、瞬く間に日本国内に蔓延しました。3月には非常事態宣言が発令され、国内外の学会はことごとく中止、本州への出張もほとんどが中止、市内の講演会・会合もすべて中止、また今年度は地域の先生方との交流の場として計画していた「地域医療連携懇話会」も叶うことができませんでした。楽しみにしていたオリンピックも延期、歓送迎会、花見、観楓会、新年会、忘年会などの病院行事、仲間との飲み会なく、夏休みを頂いてもどこも旅行に行けない。毎日の報道では、東京、札幌で感染者が何人出た、過去最多更新、死者は何人、新たなクラスターの発生、そんな滅入る話題ばかり、我慢の1年間でした。

2021年はどんな年となるのでしょうか。有効なワクチン接種ができるようになって元々の生活に戻れるまでには数年を要することでしょう。「WITH コロナ」ではありませんが、こういう状況の中でも自分たちがやれることをしっかりやっていくしかないと思います。当院の使命は、地域医療を守ることです。院内でクラスターが発生してしまうと、感染者だけでなく、濃厚接触者となった職員も一時的に失うこととなり、重要な病院機能の一部、時には大部分を停止せざるを得なくなります。コロナは誰にでもかかる可能性があります。医療従事者として正しく怖がり、正しく感染対策を行い、病院機能を維持して地域の方々が必要とする医療を提供し続けることが我々の使命と考えております。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。



副院長・
周産期医療センター長
山田 俊

新年明けましておめでとうございます。

例年とはまったく異なる形、また、お気持ちで年末年始を過ごされたことと存じます。

近い将来の様子さえ、なかなか想像できない状況ではありますが、このような不確実性の高い厳しい環境にあっても、遅く次世代へと生命は継承されます。当院の周産期医療センターでも、希望あふれる新しい命が日々誕生しています。出産と出生を支え、寄り添い、育むことに、ほんの少しではありますが、周産期医療チームとして関わることができる幸せに感謝し、こどもたちが生きていく未来が、光輝くものであってほしいと心から願います。

激動の時代を地域の皆様と共にします。ここにジェイコーがあってよかった、本当に助かったとっていただけるような施設をめざして、職員一丸となって日々の診療に精進いたします。

本年もご支援をよろしく願いいたします。



附属介護老人保健施設
副部長
伊藤 美夫

新年明けましておめでとうございます。

コロナで世の中が随分変わりました。マスクの生活となり、顔の見える関係がマスク越しの関係となりました。オンライン、Web、リモートと称する会議、講演会、学会、研修会、飲み会などが始まり、テレワークも普及されつつあり、デジタル庁の開設も決まりました。オンライン診療も検討されています。一気にIT社会が加速化され、アナログ人間はしばらく戸惑いながら適応していくしかなさそうです。

高齢者が介護、リハビリを利用出来なくなると、寝たきりの方が増えて寿命にも影響していくものと危惧されます。JCHO北海道病院附属介護老人保健施設では感染対策を徹底しながら入所、通所の利用者様に介護、リハビリを提供しています。今年も地域の介護の拠点となれるよう頑張っています。そして当施設でもリモート面会が始まっています。普段、喜怒哀楽の表情に乏しい入所者の方がいきいきとした表情でパソコンに向かっていきます。近い将来、高齢者がスマートフォン片手に車椅子で移動したり、杖歩行したりしながらノートパソコンを持ち歩くようになるのかもしれませんが。年明け早々からそのような光景を思い描いております。

今年もどうぞ宜しくお願いいたします。

認知症看護認定 看護師の活動紹介

5階北病棟 看護師長 柴田 えり奈

高齢者の方や認知症を患う方、脳血管疾患、内科的疾患の既往のある方は、入院といった環境の変化、対応する医師や看護師などのなじみのない環境に適応しにくい傾向があります。急な疾患による入院で不安が大きく混乱を起こし、せん妄（興奮したり、点滴を抜いたりする行動）を発症したりします。更に入院を契機に、もともとあった脳の脆弱性に混乱が起き、もの忘れや意欲低下など認知機能の低下や認知症の症状悪化を招くことがあります。これらの症状が出現してしまうと、原疾患の治療過程に影響を及ぼし、入院期間が長引きます。認知症を患う方にとっては、入院を契機にせん妄や認知機能低下のリスクは高くなり、医療現場での非日常的な環境の中で過ごすため悪循環となってしまいます。

当院は急性期病院であり、緊急入院やさまざまな環境要因、また手術後の疼痛や身体変化によりせん妄を発症される高齢者が多くいます。入院時にせん妄発症リスクを患者様やご家族に説明し、環境を整えたり、コミュニケーション方法を工夫したりするだけでなく、患者様自身もせん妄の予防に努めて頂くことで、安心して入院生活を送ることができる支援を行っています。

当院では、より専門性の高い認知症ケアを提供するために認定看護師の活動だけでなく、「認知症ケアチーム」を立ち上げ、各病棟から選考した看護師達が課題を共有し、知識などを現場指導に生かして実践力あるチームケアへ繋げています。これからも認知症看護認定看護師として、看護に関わる全員が、個別性に応じた認知症看護を実践できることを目指して活動を続けていきます。



JCHO北海道病院における 新型コロナウイルス感染症対策

感染対策室 感染管理認定看護師 高橋 泉

全世界で猛威をふるっている新型コロナウイルス。2020年1月28日に初めて札幌市内における陽性者が確認されて以来、瞬く間に全国に感染は拡大し、市中における感染は未だ収束の兆しが見えません。病院での感染対策は日頃から重要ですが、現在はより感染対策を強化しなければなりません。新型コロナウイルスを院内への持ち込み防止と陽性者の早期発見に努めるため、当院では以下の対策を行っています。

外来・病棟における対応

- ・常時職員全員のサージカルマスク装着、来院される患者さんへのマスク装着啓発
- ・アイガードやフェイスシールドの使用
- ・正面玄関、北玄関での手指消毒実施環境の提供とサーモグラフィによる体温測定 (写真①)
- ・発熱者専用待合ブース (写真②、③) の設置
- ・新型コロナウイルス感染が疑われる患者さん専用待合室の設置
- ・陰圧テント (写真④)、HEPAフィルター付き空気清浄機 (写真⑤) の設置
- ・問診票を使用しての詳細な行動歴の聞き取り
- ・外来1階グリーンモール設置のテーブルや椅子の配置変更による距離の確保
- ・必要時には、院内でのPCR検査実施
- ・入院サポートセンター看護師による入院前の体調確認連絡の徹底
- ・会計や各科受付、外来診察室における飛沫防止シート (写真⑥) の設置
- ・入院患者さんへの面会禁止
- ・食堂座席にアクリル板の設置

職員への対応

- ・毎日の検温と健康観察チェックシート記載の義務化
- ・手指衛生の励行
- ・常時職員全員のサージカルマスク装着
- ・アイガード装着と適切な使用に関する指導
- ・体調不良時のスムーズな受診体制の構築
- ・会議や研修の在り方の変更
(不要不急の場合は実施しない、実施する場合は換気が可能で密にならない場所とするなど)
- ・昼食時における講堂使用

目に見えないウイルスへの対策は容易ではありませんが、安心した医療を提供するために職員一丸となって取り組んでまいります。地域の皆様におかれましては、手指衛生の実施と正しいマスクの装着で感染防止に努めていただくよう、ご協力をお願いいたします。



①正面玄関、北玄関での
手指消毒と体温測定器



②、③発熱者専用待合ブース



④陰圧テント



⑤HEPAフィルター付き
空気清浄機



⑥外来診察室における
飛沫防止シートの設置

◆今号の写真◆ ～表紙写真紹介～

『子ブタの散歩』

双子山の山麓通りで、とある女性が子ブタを散歩させていました。とても可愛い子ブタだったため、撮らせてとお願いし、撮影しました。

その後は再会していないため、この子ブタの名前は未だにわかりません。

この子の前にも子ブタちゃんの散歩をしていた人を山鼻で見かけましたが、この子より大きく、きっとその子も10kgはあると思いました。

撮影者:数井 啓蔵(副院長)

災害救急指定日

〈令和3年〉

2/27(土)

3/10(水)、3/25(木)

※災害救急指定日は、やむを得ぬ事情により変更する場合があります。毎日の新聞紙等でご確認ください。

お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、

当面の間イベントの開催を

自粛しております。

予定が決まり次第、

病院ホームページ・Facebookにて

お知らせいたします。



JCHO北海道病院 各科外来診療担当医師

診療科	午前・午後	月	火	水	木	金	
総合診療救急科	午前・午後	内科系	北尾 直之	志田 玄貴	前田 由起子 長井 桂(午後)	前田 由起子 谷口 菜津子(午後)	前田 由起子 大江 真司(午後)
		外科系	数井 啓蔵 庄野/酒井/岩崎 (交代診療)(午後)	正村 裕紀 岩崎 美恵(午後)	正村 裕紀 庄野/酒井/岩崎 (交代診療)(午後)	数井 啓蔵 酒井 俊彦(午後)	数井 啓蔵 庄野 泰弘(午後)
循環器内科	午前 午後(診療13:00~)	高橋 将成	本居 美羽	木村 銀河 木村 銀河	高橋 将成	出張医 ペースメーカー外来(第1金曜日)	
心臓血管外科	午前		吉田 俊人				
呼吸器内科	午前	1診	秋山 也寸史	原田 敏之	原田 敏之	長井 桂	秋山 也寸史
		2診	水島 亜玲	谷口 菜津子	谷口 菜津子	水島 亜玲	長井 桂
消化器内科	午前	1診	古家 乾	伊藤 憲	古家 乾	森川 賢一	吉田 苑永
		2診	馬場 英	定岡 邦昌	馬場 英	定岡 邦昌	馬場 英
		3診(予約)	野口 卓郎[化学療法]	合田 智宏[化学療法]	竹内 啓[化学療法]		
	午後(診療14:00~)	坂本 直哉(予約)					
腎臓内科	午前	山本 準也		関 真秀	山本 準也	関 真秀	
膠原病内科	午前(予約)	志田 玄貴	浄土 智		浄土 智	志田 玄貴	
糖尿病・内分泌内科	午前 午後(予約)	1診		北尾 直之		北尾 直之	
		2診	牧野 圭祐	國崎 哲	牧野 圭祐	國崎 哲	國崎 哲
		2診	牧野 圭祐(13:30~)	北尾 直之(14:00~) 國崎 哲(14:00~)	牧野 圭祐(13:30~)	北尾 直之(14:00~) 國崎 哲(14:00~)	國崎 哲(14:00~)
内科	午前	1診		大江 真司(予約)	竹内 正	大江 真司(予約)	
		2診		前田 由起子			
小児科	午前	1診	澤田 博行	板倉 治	板倉 治	野呂 歩	澤田 博行
		2診	椿 淳子	椿 淳子	椿 淳子	椿 淳子	椿 淳子
		3診	板倉 治	板倉 治	那須 敬 [新生児フォローアップ]	中久保 佐千子(9:00~) [神経](月2回)	
	午後 (診療13:30~)	一般	板倉 治 伏屋 菜穂 [一般、新生児フォローアップ](月2回)	板倉 治	乳児健診(予約)	鎌田 瑛理	中島 泰志 伏屋 菜穂 [一般、新生児フォローアップ]
		慢性外来 (予約)	澤田 博行 [慢性・発達] 鎌田 瑛理 [アレルギー](月2回)	椿 淳子 [内分泌]	伏屋 菜穂 [喘息・アレルギー](月2回) 予防接種[予約なし] (受付時間12:30~14:30)	中島 泰志 [腎臓] 中久保[神経](月2回) /阿部[循環器](月2回)	阿部 二郎 1カ月健診(予約) [産婦人科外来]
	新生児 フォローアップ		那須(月2回) /野呂(月2回)	那須 敬			
整形外科	午前	1診	庄野 泰弘	庄野 泰弘	庄野 泰弘	酒井 俊彦	寺島 理代
		2診	酒井 俊彦(10:00~)	酒井 俊彦	寺島 理代	酒井 俊彦	岩崎 美恵 (10:00~)
		3診	岩崎 美恵	寺島 理代	岩崎/門間 太輔 (交代診療)	出張医	
外科	午前 午後 (診療14:00~)	一般	植木 伸也	数井 啓蔵	数井 啓蔵	正村 裕紀	正司 裕隆
		予約	乳がん検診	乳がん検診	乳がん検診	乳がん検診	乳がん検診
	午後 (診療14:00~)	乳腺外来(予約)		出張医(第1・3週)			
泌尿器科	午前	1診	高柳 明夫	高柳 明夫(11:00~)	高柳 明夫	高柳 明夫	高柳 明夫(11:00~)
		2診	諸岡 大地(11:00~)	諸岡 大地	諸岡 大地(11:00~)	諸岡 大地(11:00~)	諸岡 大地
	午後(診療13:30~)	高柳 明夫			高柳 明夫		
産婦人科	午前	1診	山田 俊	佐々木 瑞恵	小田 泰也	小山 貴弘	金川 明功
		2診	小野寺 康全	小山 貴弘	金川 明功(初診)	小田 泰也	小山 貴弘(初診)
		3診	山村 満恵(初診)	小田 泰也(初診)	山村 満恵	佐々木 瑞恵(初診)	山田 俊
	午後 (診療14:00~)	1診	山村 満恵	佐々木 瑞恵	山村 満恵(初診)	山田 俊	
		2診	交代診療(初診)	小野寺 康全(初診)		交代診療(初診)	交代診療(産後)
	3診	助産師外来	助産師外来	助産師外来	助産師外来		
眼科	午前	1診	藤尾 直樹	藤尾 直樹	藤尾 直樹(予約)	藤尾 直樹	藤尾 直樹
		2診		高橋 智恵	高橋 智恵		高橋 智恵
	午後(診療14:00~)				藤尾 直樹		
耳鼻咽喉科	午前	1診	荒木 大輔	荒木 大輔	交代診療	荒木 大輔	荒木 大輔
		2診	太田 亮[予約なし]	太田 亮		太田 亮	太田 亮
		1診		荒木 大輔		荒木 大輔	荒木 大輔
	午後 (診療14:00~)	2診		太田 亮		太田 亮	
皮膚科	午前	1診	遠藤 元宏	遠藤 元宏	遠藤 元宏	遠藤 元宏	遠藤 元宏
		2診	小林 英理	小林 英理	小林 英理	小林 英理	小林 英理
		1診	遠藤 元宏	小林 英理			遠藤/小林 (交代診療)
麻酔科(ペインクリニック・予約)	午前	実藤 洋一		神田 知枝		笠井 裕子	
放射線診断科	午前	杉浦 充			杉浦 充		
禁煙外来(予約)	午後(診療13:30~)	長井 桂			原田 敏之		

《午前の受付時間》8:00~11:00(診療開始8:45~) 《午後の受付時間》12:30~15:30(診療開始は各診療欄をご覧ください)

担当医師、診療時間について変更になる場合がございます。

病院代表電話：011-831-5151 予約変更直通：011-831-5489(平日 9:00~16:00)

JCHO北海道病院

〒062-8618 札幌市豊平区中の島1条8丁目3-18

TEL 011-831-5151(病院代表)

URL <http://hokkaido.jcho.go.jp>

f <https://www.facebook.com/jchohok>

〈医療機関専用：総合支援センター直通〉

TEL 0120-515-830 FAX 011-815-1005



↑QRコード読みで
病院ホームページへ

